



吉倉先生、ありがとうございました！

偏光顕微鏡を寄贈していただきました！

土佐清水ジオパーク構想の顧問を務めてくださっている吉倉紳一先生が放送大学高知学習センター所長を退任するにあたり、これまで、先生が研究で使っていた「偏光顕微鏡」一式を寄贈していただきました。顕微鏡は竜串ビジターセンターうみのわのラボスペースに設置し、研究や教育などに活用させていただきます。

偏光顕微鏡とは、主に岩石が、どういう鉱物からできているかを調べるために使われる顕微鏡です。偏光とは特定の方向のみに振動する光のことで、偏光顕微鏡は、この偏光を試料にあてることで、物質の特性を、明暗

や色の違いとして捉え、観察できるようにしてくれるのです。岩石を透過するほど薄くスライスした「薄片」と呼ばれる試料にこの偏光をあてて観察してみると、きらめく鉱物の一つひとつを確認することができます。

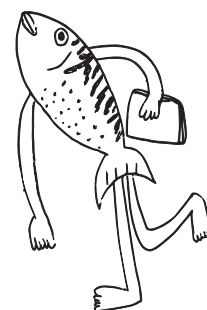


キラメク岩石の世界を覗いてみませんか？今後、偏光顕微鏡を使った展示や体験を行っていく予定です。ご期待ください。

令和2年度の日本ジオパーク新規認定の申請は見送りと
なりまし
た。

4月7日に土佐清水ジオパーク推進協議会の定例総会を開催し、今年度の日本ジオパークネットワークワークへの新規加盟申請は見送り、令和3年度において、認定の現実性を高めたくうえで申請を行うことが承認されました。

今年度は、課題の改善・解消に加え、竜串ビジターセンターうみのわを拠点とし、確実に活動実績を積み上げること、令和3年度の日本ジオパークネットワークへの加盟を目指します。



コミュニティ助成事業活用事業

《アオサバラボ》

土佐清水を自由研究する地域研究誌 “AOSABA LABO” ができました！

土佐清水の地域研究誌“AOSABA LABO”ができました！

私たちのまち土佐清水の知っているようで知らない「なんだかおもしろそう！」ということにスポットを当て、自由に研究してみました。

見慣れたまちの風景も、じっくり観察してみると、新しい発見がたくさんあるもの。冊子は竜串ビジターセンターうみのわをはじめ、市内の公共施設や商店にも置いていただいています。ぜひ、手にとっていただき、新たな土佐清水の一面に触れてみてください。いつもの何気ない風景が、少し愛おしくなるかもしれません。

この取り組みは、土佐清水ジオパーク推進協議会が財団法人自治総合センターの宝くじの助成を受けて、地域資源を活用した地域づくりを目的に行ったものです。

これからも、私たちはジオパークを通して、大地と人の関わりを探りながら、地域の価値を明らかにし、地域と地球にとってよりよい未来を目指した活動を行っていきます。

AOSABA LABO 01

コンテンツ

- ・鹿島を解剖する
- ・海と共にある風景をゆく
- ・竜串ができるまで
- ・土佐清水の寿司を探す
- ・浜辺を歩いてみる etc.



大きなサバの表紙が目印！
サバの柄って不思議。



リニューアル
しました！

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB



facebook

